

令和4年度 奈良地方裁判所 裁判員経験者の意見交換会

開催概要



開催日：令和5年1月20日(金)

4人の裁判員経験者にお越しいただき、裁判官・検察官・弁護士も交えて、裁判員裁判に関する意見をお伺いしました。さまざまな話題事項について、裁判員経験者からご発言いただきました。

意見交換会の内容を踏まえて、今後もよりよい裁判員制度の運営を目指していきます。



裁判員裁判を経験されていかがでしたか？ご意見やご感想をお聞かせください。

検察官の主張と弁護人の主張が真っ向からぶつかりあっているとき、理解することが難しいと感じました。

裁判員になることに不安な部分もありましたが、裁判所のほうでサポート体制が敷かれているなど感じました。

裁判員経験者からは、「判決は、自分たちで話し合って決めることができ、達成感が得られました」、「裁判員の意見も取り入れられ、充実した気分でした」というご意見もいただきました。

裁判手続で使われる書類などが工夫されており、事案や争点を理解するのに役立ちました。





裁判員裁判に関する裁判所の広報活動や、その効果について、どのように感じていますか？

裁判員を経験した人が少ないことも影響しているのか、まだまだ自分事として捉えられていない部分があるのではないか？と感じます。

SNSを積極的に利用することが若年層に向けた効果的な広報活動につながると思います。

裁判員候補者名簿に登載された場合、メールを使うなどして、登載者の現在の状況がリマインドされるような仕組みがあれば意識が高まると思います。

奈良地裁では、裁判官が学校や職場などを訪問し、裁判員制度について説明する「出前講義」を行っています！※要事前申込み





法律が改正され、令和5年から18歳、19歳も裁判員に選任されることになりました。
若年層へのアドバイスをお願いします！

裁判員を経験することは、将来の選択の参考になると思います。社会勉強にもなりますし、**参加する価値のある制度**だと思います。

専門的な知識がなくても、**真面目にやろう**という気持ちがあれば、大丈夫！

“世の中の一人として意見を言える場”です。物事を見る視野を広げることができます。

客観的な視点を持つことができ、勉強にも活かせると思います。**とても貴重な人生経験**にもなるので、ぜひ裁判員裁判には参加してほしい。